

海の向こうから

編集・発行：青年海外協力隊広島県 OB 会 hiroshima_jocv_obkai@yahoo.co.jp

新会長よりごあいさつ

会長就任にあたって

昨年 8 月より前岡平会長が離れられ、半年ばかり空白でしたが、私の気持ちに転機が訪れたのは、1 月に行われた J O C A 評議員会に代理出席したときのことでした。協力隊応募者が激減しているという事実を知った後、J O C A 大塚事務局長からの応募者増に向けた方策、真剣で熱い思いを聴き、OB 会 3 年目となる私も出来ることをやりたいと、気持ちを強くしました。2 月の総会では、役員改選の年に当たり、昨年度、多数転出された理事をカバーすべく、一新する顔ぶれとなりました。快く理事を引き受けて頂いた方々へ、本当に感謝しております。まだまだ、会長という慣れない立場で、どう進めればいいのか悩みもありますが、3 月には、新しいメンバーの協力を得て、応募促進ポスターを目標の 50 枚全て貼ることができ、よいスタートを切ることができたと思っています。

最近、景気動向、社会情勢の変化が、さらに速度を増していることを感じます。それと同調しているのかどうかは分かりませんが、J O C A の事業も、応募促進キャラバン隊、ポスターマン、職種別応募相談員、地域実践者ネットワーク、新支部創設など、新しい試みをされています。広島県 OB 会としては、まずは事務局の運営を軌道に乗せ、各種イベントを役員・理事の知恵を絞りながら実施していく中で、OB 会の活性化、協力隊の知名度向上、協力隊応募者・派遣中隊員への支援、協力隊事業への国民の理解促進、OB の経験を社会還元する場の提供などを目指し、協力隊事業の応援をできればと考えております。特に今年は、協力隊を育てる会との連携強化、ペアセロベへの初参加、数年ぶりのホームページ更新など、新しいことが控えており、試行錯誤になる部分も多いと思いますが、これまでの広島県 OB 会の良い部分、和気藹々とした雰囲気を引き継ぎながら頑張っていきたいと思っております。みなさまのご支援ご協力をよろしく申し上げます。

15-2 次隊 エルサルバドル 電気機器 大木健一



今後の活動計画ならびに役員紹介です



会長：大木 健一 (15-2 エル・サルバドル 電気機器)

副会長：前田 貴子 (11-1 グアテマラ 栄養士) 山城 亮介 (15-3 ハンガリー 野球)

事務局長：鈴木 知昇 (15-3 ボツワナ コンピュータ技術)

会計：久田 光孝 (12-2 PNG 村落開発普及員)

以下、理事 20 名

～ 行事予定 ～

- * ペアセロベ (Peace Love) → H20.10.26
- * 帰国報告会 + 国際交流の日 → H20.11.16
- * ボランティア家族連絡会 → H21.2 月中旬

皆様のご参加、ご協力心
よりお待ちしております。
当日参加、大歓迎です!!!

HOCAほかプロジェクト

昨年からはまった派遣中隊員支援HOCAほかプロジェクトを、今年も実施します！

このプロジェクトは、OB会が派遣中の広島県出身の隊員に活動支援を行うプロジェクトです。現地活動中の隊員の

派遣中隊員のみなさん、ぜひご検討ください！申し込み締め切りは9月末日です。たくさんのご応募お待ちしております!!!

「少しの支援があれば、こんなことができるのに。」

という思いをサポートし、現地の人々と何かを感じ、何かを残せるような、小さいけれど心温まるような支援を目的としています。

今年は昨年のひろしまフードフェスティバルや国際交流・協力の日でのエスニック料理の売り上げの一部を、派遣中隊員の活動経費に充てます。

こうしてOB会としても、直接隊員と現地に支援できているのです。

また今年は、「広島県協力隊を育てる会」にもご協力いただき、昨年3件だった募集を4件に増やし、支援をしていきます。

!!! 力はってます。!!!

昨年度は以下の3件が実施されました。

対象国	支援事業名	申請者	隊次	職種
ホンジュラス共和国	新居モデリング事業	木村 哲也	17-3	建築施工
ルワンダ	ニャガタレ郡手工芸品輸出 トライアル事業	綿本 結子	18-0	村落開発 普及員
カンボジア	楽器でにこにこプロジェクト ～楽器でつながるあなたとわたし～	森下 理奈	19-1	小学校教諭

Hocaほかプロジェクト担当 14-1 マラウイ 体育 大田黒留衣・03-1 PNG 体育 証本伸悦

祝!!! ブラジル日本移民百年

日系H16年 ブラジル 日本語教師 原 規子

1908年4月28日、日本人781名を乗せた第1回移住船「笠戸丸」が神戸港を出航し、その約2ヶ月の後、6月18日にブラジル・サントス港に入港。ここに日本人のブラジル移住が始まった。

日本とブラジルにとって重要な意味を持つこの2008年をブラジルで迎えたいと密かに切望していたが、プー太郎になりそこねた(?)ため広島で迎えることになった。しかし、広島が日本一の移民送出県ということ、広島にはブラジル人が多く在住していることから、広島にいながらにして百周年行事に深く関わることができ、思いがけずブラジルに密着する生活となった。

まず、神戸港で行われた百周年記念式展には、ここはブラジルか!?!と思うほどのブラジル人が来ており、報道や取材の仕方までブラジル式であった。

そこで某テレビ局のインタビューを受け、下手なポルトガル語だったにも拘らず、後日カットされずテレビで放映されたのはとてもうれしかった。次に4月26日(金)から旧日本銀行広島支店で始まった「ブラジル日本移民百年記念写真展」。5月3～5日のフラワーフェスティバル期間中には、サンバパレードや写真展会場で日伯交流イベントが



次々と開催された。写真展への来場者は1万人を超え、サンバパレードがあったフラワーフェスティバル初日は好天にも恵まれ、60万人を超える人出となった。私はこの3～5日の3日間、写真展兼日伯交流イベント会場でインチキ通訳や調整役、司会などをさせていただいた。私はすでにブラジルびいきなので個人的には楽しませてもらったが、ブラジルにさほど縁のない方々がサンバパレードを見て、ボサノバの演奏を聞いて、写真展のパネルを見て、何をどのように感じてくれたのか、興味を持ってもらえたのか、1人1人にインタビューしてみたかった。というのも先日、海外日系人協会が発行している“日系人ニュース No. 93”で、サンパウロで行われた日伯交流年開幕式典での伯外務省サンパウロ事務所長の挨拶が、一部次のように紹介されていたからだ。

「ブラジルのマスコミをはじめブラジル人が日本人移民百周年を盛り上げているのは、ブラジル政府主導で行っているわけではない。ブラジル人がそれぞれの立場で心から祝いたいという気持ちの表れだ。それは、ブラジル人が日本や日本人に愛着を持っているからだ。」と。これを読んで日本で就労しているブラジル人に対してこれほどの愛着を日本人が感じているだろうか、と疑問に思ったのは私だけではないだろう。

1980年代半ばから始まった出稼ぎ現象だが、当時よりブラジル人就労者と地域住民との関係は悪化していると見る人もいる。およそ20年がたった今、このブラジル日本移民百周年をきっかけに、定住化が進むブラジル人と日本人の間に新たな信頼関係と交流が生まれ、お互いが気持ちよく共生していけるような地域社会が形成されることを願うとともに、その一助になればと思う。



国際協力推進員紹介 ～新しく交替された推進員より、ごあいさつです～

みなさん、はじめまして。広島県国際協力推進員として今年4月に着任しました、五十嵐 静保しずほです。出身は出雲大社で有名な島根県出雲市です。何かの縁で広島に導かれ、忙しいながらも楽しい日々を過ごしています。そして、私自身もOGの1人。2004年12月から2006年12月まで中米ホンジュラスにあるスペシャルオリンピックスで水泳隊員として活動をしました。

任地では、重度障害者（脳性麻痺等）から軽度知的障害者の方にたいして、陸上、テニス、卓球、新体操等いろいろな競技指導を行いました。新体操のリボンを片手に「あれ？私水泳隊員だよな？」と疑問に思うこともしばしば……。また、派遣された直後に使用できるプールを見て固まりました。なんで初心者指導に使用するプールが水深7mなの？と。日本人の常識と現地人の常識の差があり、差を埋めるところから始まりました。しばらくは立ち泳ぎで指導をするなど、前途多難の日々でしたが、多くのホンジュラス人の仲間と共に苦難を乗り越えることが出来たと思っています。

そして昨年、指導していた生徒達が上海で行われたスペシャルオリンピック世界大会に出場し、見事メダル獲得！！生徒達の活躍を聞き、うれしく思います。ホンジュラス、そして日本でも好奇心旺盛な私。今後も広島でこの好奇心を原動力にいろいろなことへ挑戦していきたいと思っています！



脳性麻痺児指導風景



陸上指導風景

副会長 前田貴子さんからのレポート

Guatemala 里帰り紀行～Ya siete años de regresar a japon.～

7年ぶりに任国へ行ってきました～～！！

久しぶりの単独一人旅、スペイン語もかなりあやしく、本当に大丈夫なのか？と心配しつつも、なんとか到着！空港には Guatemala でガイドとして働いている同期隊員が迎えに来てくれていたため、ひとまず、ほっ…。でも、あれっ？！なんだか空港が綺麗じゃないですか！部分的に新しくなり、ごちゃごちゃと並んでいた民芸品店がなくなってますよ。う～ん、見た目はきれいだけど、ちょっと残念…

次の日、さっそく任地へ！ 首都からはバスに乗り約5時間、久しぶりの満員のチキンバスに懐かしさを感じながら乗り込みました。バスの中で隣のおじさんに話しかけられ、少しずつスペイン語力を取り戻していると、♪プルループルル〜と携帯が！「えっ！携帯持ってるの？」私がいた頃は、家庭にさえ電話が無く、「電話屋さん」へ行って並んで待ってたのに…。ここまで発展したか…と実感。でも、バスの中までずうずうしく入ってくる売り子さんや、壊れたりクライニングシートなどは昔と同じ。やっぱりこうでなくちゃ Guatemala じゃないでしょ！とまた実感。

そうこうするうちに任地「RABINAL (ラビナル)」へ到着！《隊員時代は、現地の教師夫妻の家の1室を借りて住んでいました。子供は「兄(18)・弟(12)・姉(9)・妹(6)」の4兄弟、事前に電話で訪問することは伝えてありました》…が、家の前でバスを降り、門を開けて「ただいま～！」って入って行ってビックリさせる！はずが、あれ？街の様子が違いますよ…結局、家の前を通り過ぎ、バスターミナルまで乗り過ぎてしまいました(^_^； 気を取り直し、荷物を担いで、テクテクと歩いて戻っていると、後ろからバイクが近づき「TAKAKO！」と…。振り返るとそこにはmamaが、

Mama 「久しぶりね～、さっきバスが通り過ぎたのに降りてこないからターミナルまで行ってきたのよ。道忘れたの？」

Takako 「忘れてないけど、様子が変わったから乗り過ごしちゃったのよお！」
ってことで、私の思い描いていた再会シーンとはちょっと違う再会になってしまいましたが、よかったあ～（Gracias a dios!）これでやっと目的地へ到着です！！

早速、家に戻り、当時と比べて増築された部屋や屋上部分へ案内してもらい、2階から改めてラビナルの街を見下ろしました。高い建物が無かった当時とは違い、2階建ての家が増え、街外れには鉄塔がいくつか建っていました。テレビや携帯電話の電波塔ということでした。日本から持っていった海外用携帯電話もバッチリ電波が入って使用可能！進んだなあ～としみじみ思いましたが、途上国の、しかも田舎で使える携帯を発売している日本も、やっぱり進んでますよね。

当時6人一緒に住んでいた家族は現在3人になっていました。兄・弟は首都の大学へ、姉はコバン(ラビナルからバスで3時間位北へ行った町)へ、それぞれ勉強のため、離ればなれで暮らしているそうです。そんな彼らも、私の里帰りにあわせ、週末を利用して帰ってきてくれていました。パパとママは少し年をとったかな？とは思いましたが、以前と変わらず元気でした。しかし、子ども達に関しては、当然のことながら大きくなっていて、昔の面影があるような無いような…。昔は私にまわりついて離れず、毎日のように私の部屋へ来てはいたずらをしていた彼らが、すっかり大人になり、ママの料理の手伝いをしたりしている様子を見ると感無量というか、なんというか…。一番驚かされたのは妹です。昔は私の自転車のカゴに乗り市場へ行ったりしていたあの子が、今やバイクを運転し、私をいろいろな所へ運んでくれるのです。当時では、想像もしていなかったことでした。

もちろん、職場へも行ってみました。私の職場では、地元NGOで貧困層の親を持つ子供たちのためのプロジェクトをやっており、私はその中の健康管理部門の一員として働いていました。当時一緒に働いていたドクターは退職していましたが、ナースは当時のままでした。事務系の職員さんたちも何名か在職しており、皆さん相変わらずプロジェクトを続けているとのことでした。ここで驚きだったのは、当時私が作った歯磨き指導用の「歯の模型」が未だに存在していたこと！スポンジと紙粘土で作ったのですが、8年経っても大切にしてくれていたことにうれしさと感動を覚えました。

職員の一人が「村の小学校に行ってくれば？先生達、まだ変わってないよ」と。自転車を貸してくれたので、予定にはなかったものの、せっかくなので小学校へ行ってみることに。道ははっきりと覚えておらず、通りすがりのおばちゃん

んに聞きながら無事到着！

この学校の先生方は当時から私に好意的で、NGO の仕事以外の栄養の授業や衛生指導等も快く協力してくださっていました。7年の経過で、さすがに私の名前は忘れられていましたが、またここでビックリが3つ。1つめは、当時の**私の写真**が校長室に飾ってありこと。これは、帰国前にクラスの生徒と先生方と一緒に撮ったものです。それを見ながら校長先生と思い出話をしました。生徒の中にはすでに警察官になった子もいるということでした。2つめは、**水**が出ていたこと。校舎が日本の援助で建てられていたので、トイレや炊事場は立派なものがあつたのですが、水が出なく、当時は使用不可能でした。今では、それらも使えるようになり、母親たちが給食を作っているとのことでした。3つめは、その母親の中に当時の**教え子**がいたこと！彼女も私のことを覚えてくれていて懐かしい再会となりましたが、ただ、彼女、「私もう2人のお母さんだよ、あなたは？」って…。って言われても、日本人は晩婚なんだよー！

その他、当時よく通っていたジュース屋さん、パン屋さん、雑貨屋さん、市場の八百屋のおばちゃん、織物屋のおばちゃん、陶器屋さん、他のNGOのドクター、電話屋さん夫婦など出来るだけ多くの人との再会を果たすことができました。「**久しぶり！**私のこと覚えてる？」といきなり訪ねてみても、覚えててくれるもんなんですね。

7年後の任地では、道路は舗装され、公園も整備され、町にはスーパーが建ち、モトタクシーと呼ばれるテウクテウクが走っているなど、当時とは様変わりな光景が目につきました。さらには、中学生も携帯を持ち、物価はガソリンの影響で急上昇（平均して2～3倍）しており、生活も変わってきているようでした。ただ、変わってなかったものとは、人々の**人間性**でした。彼らの**陽気で気さくでおせっかい**なところは相変わらずで、当時と変わらず、私を温かく迎えてくれました。

この旅は、帰国後、月日が経ち日本社会に浸ってしまう中で、忘れてしまっていた多くの感覚を思い出す機会となり、私にとって有意義な旅となりました。

OB・OGの皆さま、日本にいて行き詰まりを感じたら、一度任地へ行って、一息ついてみるのもいいのかもしれないですよ。そして現在派遣中の皆さま、帰国後に「**行ってよかったなあ**」と思えるように日々頑張ってくださいね。

11-1 グアテマラ 栄養士 前田貴子

元広島OB羽熊さんからのレポート

昨年まで、広島で活躍されていた羽熊OBのメッセージが東京から届いています。

元 広島県 OB 会料理隊長 羽熊（グアテマラ OB）です。4月から東京の**国際協カラウンジバー・クワトロエスプラス新宿御苑**でシェフをやっています。オーナーは元JICA職員、店長はウガンダOB、ボランティアスタッフもOGがたくさんいます。

お客様もJICAやコンサル、国際関係の企業や大学の方などが多いです。途上国のビールやワイン、料理は東京一品揃えあります。チベットやモンゴル、アフリカのチャリティーイベントやコンサートも毎週やっています。

JICA 広尾や新宿 JICAにも近いので上京の際はいらしてください。広島OBの方には**ビール一杯サービス**します。

詳しくはwww.4splus.com <<http://www.4splus.com>>



平成20年1次隊 出国前アンケート

アンケート調査：15-2 エルサルバドル 電気機器 大木健一

4日後に出国を控えられた方など、忙しい中にもかかわらず、壮行会への出席ありがとうございました。広島県OB会での統計によると、過去の広島県出身隊員の応募動機で一番多いのは、「挑戦」で3割を占めます。ちなみに、私の動機は、専門雑誌で読んだ先輩隊員の体験談で、私も持っている技術を活かしたいと思ったのがきっかけです。自分の書いたアンケートを、2年後の帰国時に見たいという意見がありました。大事にとっておきます。

氏名	派遣国	職種	協力隊に応募したきっかけは何か？	派遣前訓練での一番の思い出は？	出国を目前に控えた今の心境は？	これから2年間の活動に向けての意気込みを一言
森高 千恵	ニカラグア	土壌肥料	小5の時に訪れたゴビ砂漠で植林チームを見かけて。大学では土壌分析の研究を行い、今回募集と合致できたため。夢のうちの一つです。	楽しく歌って遊んで話しまくった語学クラス(Espanol)	準備でドタバタの反面、ワクワクしています。自分がきちんと役に立てる活動ができるか心配もしています。	多分野のことを吸収して、視野・考え方を広げていきたいです。一肌も二肌もむけてきたいです。
高松 理恵	ニカラグア	青少年活動	中学生のころのタイ旅行に衝撃をうけ、海外に興味を持った。その後、教育の分野に携わるようになりたいと思い、教育に真に必要なことは何かを考えるようになり、JOCVとして視野を広げたいと思った。	芸達者な方々との出会い。	期待70%、不安10%、何とかなるか！20% 自分らしく活動したい。	現地の人と良い信頼関係を築きたい！！
祝迫 直子	インドネシア	青少年活動	地歴・公民科の教員なのに、自分自身が国際協力を含め、色々な国際関係分野が未知、未経験だったため。実際に行かれた方と出会って、重い腰をあげることができました。	6/12最終日に朝の自主講座6:10～「空手の基本を学ぼう」を聞いたこと。参加者は候補生1名、スタッフ1名、どちらも同じ班の人で「愛」を感じました。訓練の最終日は片付けが大変！！でも、最後まで気を抜かず実践できました。	いつまでたっても、荷物の準備はできませんが、ヒョコヒョコと広島でお世話になった人と会っています。明日の夕方に家をあけるのに…。今晚から荷造りハードに頑張ります…と言いなから寝ているのでしょけいど…。	今日、午後4時に、教員であるため、辞令交付と教育委員会、挨拶まわりがありました。「現職教員としての自覚を持って、精一杯頑張ります。」と何回も申し上げてきました。
佐々木 瞳	ホンジュラス	音楽	中米出身の音楽家夫婦との出会いがきっかけです。中米の音楽教育の実態を聞き、自分の経験を活かしたい、役に立ちたい、と思いました。そしてラテン音楽が大好きなので、本場のラテン音楽に触れたいです。	語学クラス(スペイン語)で泣いて笑ったこと。と、サルサレソンをひらき、皆がダンスに興味を持ってくれ、最後、KTCフェスティバルで想像以上に素晴らしいパフォーマンスができたこと。	不安もありつつも「楽しみ！」の方が強いです。	どんなに小さなことでも、一緒に活動できたらと思っています。
大元 春加	サモア	理数科教師	ボランティアを通して、自分の視野を広げたかった。日本の教育、サモアの教育を良くしたいと思ったから。社会貢献をしたかった。	2ヶ月でとても詰まった濃い時間だった。3kg太った。	実感が無い。	努力を惜みず、気軽にやっていきたい。
久保田 暁代	サモア	理数科教師	高校時代の先生から話を聞いて。現職派遣制度を知って。	語学と仲間との出会い…初めてのコント	楽しみだけど…大丈夫かなと少し不安です。	ENJOY! Do my best.
河原 正生	ブラジル	日本語教師	日本文化を子供たちに伝えたかったのだ。	語学クラスの皆と最後の壮行会で「おおきなふるどけい」を歌ったこと。	ひたすら楽しみで胸がいっぱいです！	思い切り現地の人とともにブラジルライフを楽しんでいます！
尾崎 香里	ネパール	バレーボール	説明会を聞きに行つて。	語学のしんどさ。みんなで行った駒ヶ根観光。	楽しみ！	現地の人と仲良くなりた。すべてはそれからだと思っています。
根波 優司	モロッコ	体育	中学校の頃から協力隊にアコがれていたこと。自分を成長させたい。	最後の週末に班で泊まりに行ったこと。	コミュニケーションをうまくとれるか不安。	自分ができることを精一杯してきたいと思っています。
藤渕 大士	スリランカ	上下水道	大学のときから興味を持っていて、社会人になってもあきらめきれずに応募	班での様々な活動(コテージに班員で泊まりに行ったり、上高地へ旅行へ行ったこと)	荷物をまとめることで精一杯です。	自分の中で後悔しないように活動をしたい。
尼子 千春	スリランカ	養護	電車のポスターを見て、やっぱ行きたい！と思った。	班の仲間と出会えたこと。本当に楽しかった。	行くのが楽しみ。いよいよ来た…。別れが寂しい。	ゆっくりと流れに身を任せて。気負わず、できることをさせて頂こう！
讃岐 香織	カメルーン	放送	アフリカに行きたかった。地理学も勉強していて、世界のことにとっても興味があった。自分のキャリアに合った職種があった。	語学がとても大変だった。仲間ができた。	とても楽しみです。	とにかく健康でいます。
木村 有希	ウガンダ	薬剤師	海外に住みたくて、高校生の頃から夢でした。「薬剤師」という職種で国際協力できる機関が他になかった。	友だちがいっぱいできたこと。	準備でいっぱい。英語が心配。	必ず生きて、元気で帰ってくる。

理事 皿海さんからのレポート

モンゴル通信・No.1

モンゴルに着て約2週間が過ぎましたね。

今は夏だから暑いくらいの日差し、空気が乾いた感じがします。でもね、時々曇りや雨の日があるんです。そんな日はね、ジャンパーがないと寒くてたまらないときがあります。今日なんか朝晴れていたのに、昼前から砂嵐のような天気で、ウランバートルを囲むようにそびえる？山々が、全く見えなかったんですよ。仕事が終わって7時頃歩いて帰宅してる時なんか寒くて・・・Tシャツにパーカーって薄着だったって事もあるけど、朝 晴れてたのに・・・晴れてたのに・・・

ところで、モンゴルはね、夜9時近くまで明るいんです。

だから、子供達は夜8時過ぎても、バスケットやサッカーで遊んでます。バスケって言っても、3on3を10人くらいでやってるんですよ。



アパートの5階
我が家から見た市
内の様子。飲み屋街
らしい

日々の食事だけども、なかなか充実してますよ。昼に社食で食べるモンゴル料理に加えて、家では自炊しますからね。数年前より腕を上げたかも・・・材料も充実していて、左程困ることはないですね。ただね、韓国製品は字が読めないから、それが何なのかを判断するのは、なかなか難しいですね。絵で判断するか雰囲気を選ぶ感じで、ちょっとドキドキします。あっ、そうそう 私の場合、初めての言語の国へ行くと、レストランで言葉が通じない上に字が読めないとき、頑張って注文しても、結局通じなくて欲しくもない料理を、1品だけ大量に食べる羽目になることがよくあります。今回も焼うどんみたいな料理だけ大盛りで食べましたよ。注文したというより、メニュー指さしたら出てきたって感じですけど・・・。

モンゴル語は馴染みがないから、わからないですよ。

ロシアアルファベットらしいけど、使ったことも見たこともないですよ？

「P」って書いて発音は「アール」だそうで、街に「KA・PA・O・KE BAR」があるんだけど「カパオケ」じゃなくて「カラオケバー」って読むんだそうです。



噂のカラオケ屋さん
市内に多数ある
カパオケじゃないよ



事務所にて、ウォッカで乾杯。Welcome だって。モンゴル人お酒強いよ

今のところ順調、順調、日々刺激的。楽しんでますよ。では次回、「モンゴル通信・No2」で、お会いしましょう。

2008年6月15日

モンゴル国 ウランバートルにて 皿海博信

JICAより新着情報

帰国ボランティア専用HP誕生！



新しい情報を、少しでも早く！！

- 緊急公募など随時お知らせ
- 帰国ボランティア向けセミナーのご案内
- OV会などのイベント情報
- 各種申請書・証明書のフォームのダウンロード

URL: <http://www.jica.go.jp/shinrojoho/index.html>

(専用 ID:jocvobog 専用パスワード: 7fjVW3Xq)

お気に入りに
追加を！！

編集後記

今年度に入り、役員が一新、メンバーも過去になく増員し、広島県OB会は、なおいっそう若き？パワーでみなぎっています。今年は、昨年まで参加を続けてきたフードフェスティバルに変わり「ペアゼロベ」への参加を予定しています。日本社会にもまれ一息つきたい方、任地をこよなく愛している方、日々新しい発見を求めている方、OB会はそんなあなたをお待ちしています。イベント当日、ふらっと覗くもよし、隊員時代を思い出し、任国の自慢話に花を咲かせましょう！

今回は、Hocaほかプロジェクトから、里帰りレポート、さらには、海外赴任中OBからのレポートなど、盛りだくさんでした。みなさん、語り始めると長いんですから…。記事を提供下さった方々、ありがとうございました。次回、会報発行は、12月を予定しています。会報に載せたい記事がありましたら、ぜひ投稿してください。(hiroshima_jocv_obkai@yahoo.co.jpまで)。海外で大活躍中の隊員の皆様からの投稿もお待ちしています!!!

会報担当 12-1 ドミニカ共和国をこよなく愛す 松岡 美砂

